

1 研究主題 「児童生徒の『生きる力』を育む学校保健活動の充実を目指して」

昨今の急速な社会環境や生活環境の変化により、生活習慣の乱れ、いじめや不登校、メンタルヘルスに関する問題、アレルギー性疾患、新たな感染症など、子どもたちの健康課題が多様化・深刻化してきている。このような多岐にわたる健康課題の解決を目指していくために、子どもたちの「生きる力」の育成が求められている。そこで、学校保健の柱の1つでもある保健管理面から子どもたちの実態や健康課題を捉え、「子どもを育てる」という視点から日々の執務や実践を充実させることが、児童生徒に「生きる力」を育てていくための支援や指導につながると考え、標記の主題を設定した。

2 研究の概要

昨年度からの研究2年目である。「保健管理」を共通テーマとし、①救急処置、②健康診断、③健康課題の把握、④疾病の予防と管理の中から各部員が選択し、研修・研究を継続してきた。保健管理を「子どもを育てる」視点から見直し、様々な面（健康教育、環境整備、組織づくり、執務の効率化等）から日々の執務や実践を通して、工夫・改善を図ってきた。また、テーマ別グループワークを設定し、養護教員同士の意見交換や情報交換を通して、研修・研究を深めてきた。さらに、養護教員部研修では実践発表会を行い、2年間の研修・研究の成果を共有した。さらに、実践のまとめを集録として作成することで研修・研究の成果や課題を共有し、今後の実践につなげていく。

3 研究の実際

- 6/21 第1回小委員会開催
研修・研究の進め方の確認、研修内容の検討
 - 8/22 県養研支部校種別研修会…講演、グループワーク
 - 10/11 第2回小委員会開催
全体研修の運営計画の検討、実践発表者の決定
 - 11/ 4 第3回小委員会開催
要項作成、研修会運営最終確認
 - 11/11 養護教員部研修 実践発表、グループワーク
指導 指導者 上越市教育委員会学校教育課
指導主事 須藤 里美 様
- ① グループの仲間から学ぶことで自身の学びにもなり、各実践の共有が各校の実践に生きる。
 - ② よりよい支援のために、何が子どもに必要なか実態把握を行い、評価し、実践につなげている。
 - ③ 組織を作って動かしている。保健管理の充実が保健教育にもつながる。これらの取組は学校経営目標の実現にもつながる。
- 2/24 県養研支部研修会…研修・研究成果報告



4 成果と課題

実践発表会やテーマ別グループワークでは、仲間の実践に学び、自己の実践を振り返ったり、見直したりすることができた。保健管理面を改めて見直すことで、保健教育へのつながりや組織づくりの大切さを学び、児童生徒の「生きる力」をはぐくむ学校保健活動について理解を深める機会となった。今後は、個人またはグループで研修・研究してきたことをふまえ、子どもたちへの願いや思い、目指す姿を考えながら、「子どもを育てる」視点を忘れず、さらに実践を積み重ねていく。